平成31年2月定例

伊達市教育委員会　会議録

平成31年2月13日開催

 平成31年2月定例伊達市教育委員会会議録

1. 開催日時　　平成31年2月13日（水）13時30分～

２．開催場所　　保原本庁舎東棟２階　201会議室

３．出席者　　　教育長　菅野　善昌

１番　太田　康一　　委員

　２番　髙野　保夫　　委員（教育長職務代理者）

　　　　　　　　３番　菅野　千惠子　委員

　４番　三品　清重郎　委員

1. 欠席委員　　なし

５．説明のため出席した者

　　　　　　　　教育部長　　　　　　　　　　遠藤　直二

　　　　　　　　教育総務課長　　　　　　　　原　好則

文化課長 　坂本　直樹

　　　　　　　　学校教育課長　　　　　　　　福地　淳一

学校給食センター所長　　　　小賀坂　義一

　　　　　　　　こども部長　　　　　　　　　半沢　信光

　　　　　　　　こども支援課長　　　　　　　谷口　信高

　　　　　　　　こども育成課長　　　　　　　森林　敏昭

６．本委員会書記

　　　　　　　　教育総務課総務企画係長　　　冨田　昭子

1. 日程１　開　　会

**○菅野教育長**これより平成31年２月定例伊達市教育委員会を開催いたします。

８．日程２　議事録署名委員の指名

**○菅野教育長**続きまして、本日の議事録署名委員の指名について、指名いたします。３番菅野委員と、４番三品委員にお願いします。ここで１月定例伊達市教育委員会の議事録について、１番太田委員と２番菅野委員に署名いただきましたので、報告します。

９.日程３　会議の進め方

**○菅野教育長**　本日の会議の進め方について、原教育総務課長から説明をお願いします。

**○原教育総務課長**　資料により説明

　議事日程

１　開　会

２　議事録署名委員の指名

３　会議の進め方

４　傍聴の許可

５　議　事

　　　議案第３号　伊達市スクールバス運行管理規則の一部を改正する規　　　　　　　　則について

　　　議案第４号　伊達市立学校通学等区域に関する規則の一部を改正す　　　　　　　　る規則について

　　　議案第５号　平成30年度伊達市教職員・児童生徒教育振興表彰につ　　　　　　　　いて

　　　議案第６号　伊達市学校給食センター管理規則の一部を改正する規　　　　　　　　則について

　　議案第７号　平成30年度伊達市一般会計補正予算（教育委員会分）　　　　　　　について

　　　議案第８号　平成31年度伊達市一般会計予算（教育委員会分）につ　　　　　　　　いて

　　　諮問第３号　平成31年度伊達市学校給食費の決定について（諮問）

６　報　告

　　　教育長から

　　　各課から

７　閉　会

10.日程４　傍聴の許可

**○菅野教育長**　傍聴の許可に入ります。傍聴の許可を求める方はいらっしゃいますか。

**○冨田総務企画係長**　本日はおりません。

1. 日程５　議　事

**○菅野教育長**　それでは議事に入ります。「議案第３号　伊達市スクールバス運行管理規則の一部を改正する規則について」を議題とします。学校教育課長から説明をお願いします。

**○福地学校教育課長**資料により説明

**○菅野教育長**ただいま説明あった議案第３号について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。

**〇髙野委員**　通学距離が遠くなりますが、出発時間の大きな変更はありますか？

**○福地学校教育課長**大きな変更はありません。

**○菅野教育長**　そのほか、質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案を決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、「議案第３号　伊達市スクールバス運行管理規則の一部を改正する規則について」は、可決されました。

**○菅野教育長**　続きまして「議案第４号　伊達市立学校通学等区域に関する規則の一部を改正する規則について」を議題とします。学校教育課長から説明をお願いします。

**○福地学校教育課長**資料により説明

**○菅野教育長**ただいま説明あった議案第４号について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。

**〇髙野委員**　最後の説明について、もう一度ご説明願いますか。

**〇福地学校教育課長**　小国・石田・大石・小手小学校については、その学区でなくとも申請をすれば通学できるようになるという特任校のシステムがあります。その学校に、柱沢小学校も付け加えるという説明をしましたが、今回の規則改正ではそこには触れておりませんので、区域外通学のシステムについて、のちほどご説明させていただきます。

**○髙野委員**　富成小学校に通っていたけれど、今後、柱沢小に行きたいということも認めるということですか？申請し、審議が通れば認めるということですね。

**〇福地学校教育課長**はい。そうです。

**○菅野教育長**それでは、協議のなかで説明する予定でありましたが、話が出ましたので、伊達市立学校通学区域外就学許可の特例に係る小規模特認小学校設定要綱についても、説明をお願いします。

**〇福地学校教育課長**資料により説明

**〇三品委員**特任校へ通学許可をするにあたり審査があるということでしたが、どういう基準があるのか、具体的に教えていただきたいのですが。

**〇福地学校教育課長**　第３条に挙げている要件を満たすことが必要になります。この制度により、大きな学校だと気後れしてしまうような児童が、小規模校に通うことができるようになります。

**〇髙野委員**議会で富成小学校の統合は、反対があったが統合になってしまったというような質問がありましたが、まとまった形で柱沢小学校への通学を希望するということも想定していますか？特任校として認めた際に混乱は生じないか心配になりました。

**〇福地学校教育課長**議員にも、小規模校は特任校として認めるということをお話ししておりました。また富成小学校や地域の皆様にもこのような改正が行われる予定であるということはお伝えしておりましたので、混乱はないものと思います。

**○菅野教育長**　そのほか、質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案を決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、「議案第４号　伊達市立学校通学等区域に関する規則の一部を改正する規則について」は、可決されました。

**〇菅野教育長**合わせて、要綱についても異議なしということでよろしいでしょうか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　ありがとうございました。

**○菅野教育長**　続きまして「議案第５号　平成30年度伊達市教職員・児童生徒教育振興表彰について」を議題とします。学校教育課長から説明をお願いします。

**○福地学校教育課長**資料により説明

**○菅野教育長**ただいま説明あった議案第５号について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。例年、どのような形で候補者を決定しているのか、説明をお願いします。

**〇福地学校教育課長**例年、教育委員会事務局で提出した内容で被表彰者を決定していただいておりました。なお、内容のなかでそぐわないものがございましたら、協議をお願いしたいと思います。

**〇菅野教育長**候補者の実績内容を確認していただき、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

**〇髙野委員**子どもたちは表彰を受けるとどのようなことになりますか？

**〇福地学校教育課長**表彰状をお渡しするようなります。

**〇髙野委員**学校によって候補者の出し方がばらばらになっているように感じます。統一基準はないのでしょうか？

**〇福地学校教育課長**基本的には県大会以上のものということにしております。

**〇髙野委員**　県に提出しているから佳作の作品を挙げてくる学校もあれば、挙げてこない学校もありますね。学校によって判断基準がばらばらになっているという可能性がありますね。

**〇福地学校教育課長**その可能性はございます。

**〇菅野教育長**候補者リストをみると大きい学校が多い気がしますが、小さい学校でも子ども達が頑張って結果を残しているのであれば、今回のご意見を次年度以降の反省としながら、候補者を出せるようにしていったほうが良いですね。

**〇福地学校教課長**伊達小学校の福島県児童作文コンクール準特選、梁川小学校の福島県児童作文コンクール特選、保原小学校の福島県児童作文コンクール佳作ということで、それぞれのコンクールに関しての入賞者にしては網羅していると考えております。

**〇菅野教育長**入賞者がすべて候補者として挙げられているかチェックする手段はないので、各学校に、奨励の意味で、もれなく出してもらうように声をかけていくということが必要だと思います。

**〇髙野委員**丁寧に拾い上げることで、子どもに自信をつけさせながら、長い目で子どもの成長を見守っていくという観点からみると、むらがないほうが良いと思います。ざぶん賞でも保原小学校で全国準ざぶん賞・福島県教育長賞を受賞した児童は候補者に挙げられていますが、梁川中学校で福島県教育長賞を受賞した生徒は挙げられておりません。県以上の表彰を受けている作品でもここに挙げられていないものがあると思うので、学校にあたってほしいと思います。

**〇菅野教育長**教職員のほうもご確認ください。よろしいでしょうか。

**○菅野教育長**　そのほか、質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案を決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、「議案第５号　平成30年度伊達市教職員・児童生徒教育振興表彰について」は、可決されました。

**○菅野教育長**　続きまして「議案第６号　伊達市学校給食センター管理規則の一部を改正する規則について」学校給食センター所長から説明をお願いします。

**○小賀坂給食センター所長**資料により説明

**○菅野教育長**ただいま説明あった議案第６号について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。

**○菅野教育長**　質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。これより採決に入ります。本案を決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、「議案第６号　伊達市学校給食センター管理規則の一部を改正する規則について」は、可決されました。

**○菅野教育長**　続きまして「議案第７号　平成30年度伊達市一般会計補正予算（教育委員会分）について」各課長からの説明をお願いします。

**○原教育総務課長**資料により説明

**○坂本文化課長**資料により説明

**○福地学校教育課長**資料により説明

**○菅野教育長**ただいま説明あった議案第７号の教育部関係の補正予算について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。

**〇髙野委員**５ページのこどものリフレッシュ事業についてですが、400万円を減額補正した背景を教えていただきたいのですが。

**〇原教育総務課長**参加者が少なくなったというのが一番の要因です。野辺山キャンプの出席者は60名見込んでおりましたが39名でした。NPO法人への補助金交付についても２団体減ったということもあって、減額補正しました。

**〇髙野委員**これだけ予算がついたのであれば、有効に使用できるように働きかけて消化すべきだと思いますが、どのような働きかけをされましたか？

**〇原教育総務課長**野辺山サマーキャンプについては、追加募集を行いましたが、増えたのは２家族でした。このキャンプは放射能がない場所で、のびのび活動をするという趣旨ですので、放射能への不安が落ち着いてきたということがいえるのかもしれません。

**〇髙野委員**予算残りそうだから、有効に活用できるよう、ほかに何か働きかけをしなかったのかということをお聞きしたのですが。

**〇原教育総務課長**別の事業に活用するということは行いませんでした。

**〇髙野委員**それはもったいないですね。

**〇菅野委員**私もキャンプの参加状況について確認しようと思っておりました。震災から７，８年経過すると、そろそろ終了の時期かと思っていました。伊達のNPO法人が企画しているキャンプについても、人数が集まらないと聞いています。現状にあった予算のとり方をしたほうが有効ではないかと感じました。

**〇菅野教育長**今までのご意見を受けて、次年度以降の事業を焦点化していくことが必要ですね。私自身も感じたことは、キャンプは夏休みに集中しており、終わってみないと人数把握が難しいということがあると思います。この事業そのものの見直しが必要だと思います。

**〇髙野委員**菅野委員からは、キャンプについての予算のつけ方を次年度以降は考えてほしいという要望ですね。私の場合は当初予算がついているのだから、それを有効的に活用することができないかということです。事業の参加者が少なくなっていることを考える、菅野委員がおっしゃるとおり、考え直すべきなのかと感じます。その分の予算を他に回すほうが良いのかと思います。

**〇菅野教育長**当初の目的は、放射能のないところでのびのびと思いっきり遊ばせたいということでした。当初の趣旨は十分達成できたのではないかという、受入先の判断もありまして、今年以降は見直しをしていくという団体の声も聞かれました。予算の使い方については、予算枠を十分に活用し、事業については、当初目的の達成度の面から見直すことの２つの点から、今後、検討する必要があると思います。

**〇髙野委員**10ページの背景を教えてください。

**〇福地学校教育課長**当初は11名想定しておりましたが、学校を兼務していた２名から兼務を外してほしいという要望を受け、２名採用したので、13名に支給することになります。

**〇菅野委員**８ページの特別支援介助員についてですが、配置が42名という数字になっていますが、これは、足りているという状況ですか。

**〇福地学校教育課長**現状は満たされているという状況ではありません。来年度の予算では２名増員していますが、まだまだ足りない状況です。

**〇菅野教育長**枠として42名分であり、42名を確保し各校に配置しているが、現状としては足りないということですね。

**〇菅野委員**予算の枠で42名を採用していたということですね。学校によっては１名の介助員がかけもちをしている状況がある。発達障害の子どもたちへの働きかけとして週２回の働きかけだと、子どもへの接し方として薄いのではと感じています。ぜひ、１校に１名が１週間、支援できるという配置の仕方をお願いしたいと思います。

**〇福地学校教育課長**学校によっては、３，４名入っているところもありますが、そこでさえもまだまだ足りないという状況です。かつ、かけもちで行っている学校へ補正できるかというと、人数の関係もあり、出来ない現状ですが、我々も努力をしていきたいと思います。

**〇菅野教育長**それでは、こども部の説明をお願いします。

**○谷口こども支援課長**資料により説明

**○森林こども育成課長**資料により説明

**○菅野教育長**こども部の補正予算について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。

**〇三品委員**　こども部は国と県の補助金が入ってくる事業で、使わなかったから返す金額がありますが、その金額で算出方法が不正確であるという評価を国や県からされるということはないのでしょうか？統計がしっかりしていない地方自治体には、申請しても支給されないということはないのでしょうか？また一般財源で3,400万円の支出が減っているのですが、事前調査をしっかりしていれば、この分の予算を他に使えるのではないでしょうか。子ども達に有効に使ってほしいという要望と下調べの正確性が足りないのではないかという批判の意味もこめて、説明をお願いします。

**〇谷口こども支援課長**児童手当や児童扶養手当は、１年以上前の10月に所要額を申請します。その後、６月に実際の申請が始まり、今の時期に審査をして確定し、翌年度に最終的な確定をします。どこの自治体もそうですが、どこまで精査をするかという判断が難しい。なお、国からもっと精査せよという通達は入っておりません。手当等が足りないということを防ぐために、どうしても多めに申請をし、残ってしまうという状況です。市の一般財源につきましても、一般財源の3,400万円を残したからほかの事業に回すということではなく、財政当局でもその金額を見越しているという状況です。

　また、児童扶養手当はその年の所得で額が変わるので、前年度の実績に今年度のベースアップ分を予測するため、非常に難しい算定となります。ただ、足りなくなるのは困るので、多めに計上させていただいているのが現状です。

**〇菅野教育長**19ページに高等学校卒業程度認定試験合格支援事業がありますが、この講座を受けている方はいますか？

**〇谷口こども支援課長**おりません。制度はあるので、予算計上をしていますが、２年間の間で申請はありません。別の高等職業訓練促進給付金事業については、現在１名の方が利用しています。

**〇菅野委員**伊達市で高等学校卒業程度認定試験を受けている人はいますよね。申請がないということですか。

**〇谷口こども支援課長**はい。申請がありません。

**〇菅野教育長**講座自体は県がやっているのでしょうか？

**〇谷口こども支援課長**確認します。

**○菅野教育長**　そのほか、質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案を決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、「議案第７号　平成30年度伊達市一般会計補正予算（教育委員会分）について」は、可決されました。

**○菅野教育長**　続きまして「議案第８号　平成3１年度伊達市一般会計予算（教育委員会分）について」を議題とします。各担当課長から説明をお願いします。

**○原教育総務課長**資料により説明

**○坂本文化課長**資料により説明

**○福地学校教育課長**資料により説明

**○小賀坂給食センター所長**資料により説明

**○菅野教育長**ただいま説明あった議案第８号の教育部関係の平成３１年度予算について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。

**〇髙野委員**　先ほど話題になったこどもリフレッシュ事業についてですが、今年度と同額程度が計上されています。これは、放射能対策ということを配慮しているのでしょうか。そうであれば、有効に使う方策を考えないとせっかく予算をとっても無駄になってしまうと感じました。

**〇原教育総務課長**　事業の見直しについては、放射能対策のなかで、今後検討していきます。

**〇髙野委員**　いつになったら減額となるのでしょうか？

**〇遠藤教育部長**　放射能対策ということで同額程度を予算計上しています。考え方としましては、通学合宿所が完成し運用が始まったタイミングで整理すべきかと考えております。従いまして、2020年度のタイミングと考えております。

**〇髙野委員**　こどもリフレッシュ事業という子どものためという趣旨を大前提に考えていくべきだと思います。前年度踏襲では何も変わらないのではないかと思いますが。

**○菅野教育長**　今後、検討いたします。

**〇髙野委員**　平成30年度の教育要覧と成31年度の当初予算を比較したところ、教育部関係は２億3,000万円の減となっていますが。

**〇原教育総務課長**給食センターの建設や上保原小学校の大規模改修など、ハード面の支出が多かったということから、数億程度の増減はあるかと思います。

**〇髙野委員**私の計算だと、平成30年度は36億で平成31年度は34億。教育総務関係だと平成30年度は26％が62％という配分になっている。給食センターは、平成30年度は23％が16％に、学校教育課は51％が21,6％と約半分に減ってきている。教育総務関係が大幅にアップしているのは、月舘学園と通学合宿所の整備事業があるから、比率が高くなっているのですよね。こういった計算で間違いないでしょうか。教育部全体で予算の減り方が６．７％ということになっていますが。

**〇原教育総務課長**施設の建設費の増減で変わっているところはあると思います。

**〇髙野委員**それにしても、全体的に減らされていると思いますが。７％弱のシーリングはかなり効いているのではないでしょうか。

**〇原教育総務課長**　７％は全体的に大きいとは思いますが、なお、精査をしてみたいと思います。

**〇髙野委員**大型の工事が入っているのに、全体的に減らされている率が大きいと感じました。

**〇太田委員**　16ページの伊達小改築事業ですが、耐震性が満たされない状況で　なぜ工事が進まないのかと親としては率直に感じます。耐震工事が進まないなかで通学合宿所の建設も入ってくるとなると、優先順位はどうなっているのかと感じます。親としては、常時、使用している小学校の安心安全を求めています。年に何回かしか使用しない通学合宿所よりも伊達地域の親は小学校をもっと安心な場所にしてほしいと思っています。いろんなハードルはあると思いますが、力を入れて取り組んでほしいと思います。

**〇菅野教育長**　要望として承ります。ありがとうございました。

**〇三品委員**　36ページと37ページですが、スポーツ振興について事業を分ける必要がないのではないかと感じています。地域スポーツを推進するという目標に対して、各事業の概要を見ても、どの事業がその目標に対して、予算をかけて取り組んでいるのかが分かりにくいです。スポーツ振興について、枠組みの変更がされていないので、今年度はよいが、将来的にはもっと整理をしたほうが、有効な予算の使い方が出来て、事業を進めやすいと思います。総合型スポーツクラブを作るのであれば、予算もそれに向けて寄せていくというような工夫が必要だと思います。来年度の１年間で、総合型スポーツクラブを作る形に向けられないのかなと思います。

**〇原教育総務課長**　枠組みは一本化して、裁量のある使い方が出来ればという考え方もありますが、予算の事業は分けておいたほうが、使いやすいということとシーリングの影響を受けにくいということで、細かく分けておりましたが、施設の管理にかかる事業の予算の取り方については、検討すべきところがあると思います。

**〇三品委員**　一番聞きたいのは、総合型スポーツクラブに向けて、取り組んでいくのかというところです。目標に総合型スポーツクラブが記されてはいるけど、予算の使い方は毎年変わっていないので、実際、どのような取組みをするのでしょうか。

**〇原教育総務課長**スポーツ振興事業では、人件費１名分を追加しました。

**〇三品委員**　スポーツクラブを推進するための人を増やしたということで良いのでしょうか。

**〇遠藤教育部長**　新年度は、専属で総合型スポーツクラブの立ち上げについて、市の考えとスポーツ振興公社の間をコーディネートする職員を採用します。

**〇菅野教育長**　スポーツ振興公社の運営について、旧町の取扱いが残っていて市として統一できていいないことについて整理をしていくために、課題の洗い出しをしているところです。

**〇髙野委員**　27～29ページの図書館関係にかかる金額と教育要覧に示されている平成30年度の金額を確認するとかなり減額されています。要覧の平成30年度の数字は4,600万円で、平成31年度の予算書の数字を合計すると3,100万円となり36％の減となります。これは、なぜなのでしょうか？

**〇原教育総務課長**定例教育委員会で提出している予算書は、人件費は人事課案件なので提出しておりませんので、教育要覧の数字とイコールにはならないということです。人件費については、事業ではないので外しております。

**○髙野委員**　平成30年度と平成31年度の比較を提示したうえで、事業費の説明をしていかないと誤解が生じると思います。条件が違うものを提出されても比較ができないと思います。予算の見える化を図ってほしいということを、昨年度も三品委員がお話しをしていたと思いますが、私も賛成です。要望ということでお願いします。

**○菅野教育長**統一した視点でデータを提出できるように、今後はしていきたいと思います。

**○菅野教育長**続きまして、こども部から説明をお願いします。

**○谷口こども支援課長**資料により説明

**○森林こども育成課長**資料により説明

**○菅野教育長**ただいま説明あった議案第８号のこども部関係の平成３１年度予算について、委員の皆様のご意見、ご質問のある方の発言をお願いします。

**○髙野委員**　120ページのところで、待機児童対策はいつから開催されるのですか？

**○谷口支援課長**　０才～２才までは、平成31年度の４月から定員を15名増やしました。これは、伊達認定こども園内の子育て支援センターの場所をふれあいセンターに移動したことでスペースを確保しました。当初予算に計上したのは３才～５才の定員を30人×３部屋で、90人を受け入れようと考えています。平成31年度中に建築を終了し、平成32年４月から新たに90名を受け入れる体制をとりたいと考えています。

**○髙野委員**希望者は、大体受け入れられるようになりますか？

**○谷口支援課長　今**年の現状でいうと、それでも０才～２才は少し足りない状況です。

**○菅野教育長**　そのほか、質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案を決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、「議案第８号　平成31年度伊達市一般会計補正予算（教育委員会分）について」は、可決されました。

**〇菅野教育長**　続きまして「諮問第３号　伊達市学校給食費について（諮問）」を議題とします。給食センター所長から説明をお願いします。

**○小賀坂給食センター所長**資料により説明

**○菅野教育長**ただいま説明あった諮問第１号について、委員の皆様の質疑をお願いします。ご意見のある方の発言をお願いします。

**○三品委員**　賄費の内訳を教えていだたきたい。材料費と加工品費の割合を教えてほしい。

**○小賀坂給食センター所長**主食と副食費の割合を申し上げます。主食は週５回のうち米飯を３回、パンを１回、麺を１回提供しています。中学校の平均で38円80銭となります。これに牛乳が50円、そして残りの副食費が、202円57銭となります。この202円の中で加工品を調理したり、野菜をサラダにしたりという調理をしています。

**○三品委員**調理されたものを使用している割合が多いということですね。

**○菅野委員**新しい給食センターの運営がはじまり、食材の調達方法に変更があったと思いますが、給食費は全く昨年度と変わらないのですか。

**○小賀坂給食センター所長**食材費につきましては、今年の10月に消費税の増税が見込まれていますが、食材については軽減税率が適用され８％のままということが見込まれています。光熱水費は値上げになりますが、米飯を自前で炊いている分、昨年度より委託費が安くなりましたので、賄うことが出来ると考えております。

**○菅野教育長**　そのほか、質疑がなければ質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより採決に入ります。本案を決することに異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、「諮問第３号　伊達市学校給食費について（諮問）」は、可決されました。ここで、５分間の休憩をとります。

【５分間の休憩】

12.日程６　報告

**○菅野教育長**それでは日程７、報告に移ります。教育長からの報告です。

**○菅野教育長**資料により報告

　１　立志式・・・厳粛な中にも温かみに溢れた行事（教育長の部屋）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・・・資料１

　（１）立志式

　　○伊達中学校（106名）１月25日（金）11：30～［伊達中多目的ホール］

　　○梁川中学校（121名）２月７日（木）10：00～［梁川中アリーナ］

　　○松陽中学校（ 58名）２月４日（月）10：30～［松陽中体育館］

　　○桃陵中学校（167名）２月６日（水）11：00～［桃陵中体育館］

　　○霊山中学校（ 45名）１月24日（木）10：35～［霊山中体育館］

　　○月舘中学校（ 29名）１月28日（月）10」：50～［月舘中央交流館］

　（２）お祝い会・・・式当日の午後（於：スカイパレス）　・・・資料２

　（３）講演会

　　○期日　平成31年２月12日（火）14：30～

　　○場所　保原体育館

　　○演題　「天に一番近い大地チベットからのお話し

～私はなぜ学ぶのか～」

　　○講師　バイマ―ヤンジン氏

　２　福島県市町村教育委員会連絡協議会関連

　　※理事会（桑折町　会田教育長出席）報告

　　①平成31年１月17日（木）10：30～12：30　於：福島テルサ

　　②主な内容

　　　○　平成30年度事業実施状況並びに決算見込み　その他　についてすべて原案通り決議済み

　　　○　2019年度　事業計画書（案）・・・・・資料３

　３　各種行事等活動状況

1. 第64回青少年読書感想文全国コンクール

　　　　　　　　　　　サントリー奨励賞　保原小６年：柳沼佳奈実

　（２）2018ざぶん賞全国入賞　準ざぶん大賞　　　保原小４年：瀧澤　薫

　４　その他

1. 教頭会資料・教育長の部屋・・・・・・資料５・６
2. 学校たより、新聞報道等から・・・・・資料７～資料14

**○菅野教育長**続きまして、教育部長からの報告です。

**○遠藤教育部長**　・月舘学園校歌の歌詞について資料により報告

**・**平成31年度伊達市教育委員会事務局組織図（案）について

　　　　　　　　資料により報告

**○菅野教育長**続きまして、各課からの報告です。

**○原教育総務課長**　　教育大綱の成案にかかる今後の予定について説明。

**○坂本文化課長**　　　養蚕関係の国の文化財指定の答申について説明。

**○福地学校教育課長**　いじめ条例の制定については、市長部局と調整のうえ、次年度に提出することを説明。

**○小賀坂給食センター所長**　特になし。

**○谷口こども支援課長**　立志式に出席いただきましてありがとうございました。

**○森林こども育成課長**　特になし。

**○菅野教育長**　他にご意見等ございませんか。それでは、ないようですので、来月の定例会の日程について、事務局から説明願います。

**○原教育総務課長**次回３月定例会　開催予定日

　　　　　　　　　　　　日　時　平成31年３月13日（水）13時30分～

　　　　　　　　　　　　会　場　保原本庁舎東棟２階　201会議室

**○菅野教育長**その他ないようでしたら、閉会に移ります。本日は以上で終了いたします。ご出席ありがとうございました。

13．日程７　閉　　会　15時54分

　上記記録の正確なことを認め、ここに署名する。

　　　　平成31年２月13日

　　　　　　　　　　　　議事録署名人

　３番委員

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　４番委員

　　　　　　　　　　　議事録調製者　教育総務課総務企画係長　冨田　昭子